

経済学研究科専攻別修士論文審査基準

経済学専攻

修士学位論文の審査にあたっては、以下の項目に対し評価を行う。

- 1) 適切な研究テーマが設定され、研究目的が明確であること
- 2) 研究目的に合致した、適切な方法・手法によって分析されていること
- 3) 研究内容に経済学の観点からの学術的意義、あるいは社会的意義が認められること
- 4) 論文の構成が整合的で、且つ、論旨の展開が論理的であること、若しくは結果が正しく論証されていること

経営学専攻（経営学分野）

修士学位論文の審査にあたっては、以下の項目に対し評価を行う。

- 1) 適切な研究テーマが設定され、研究目的が明確であること
- 2) 研究目的に合致した、適切な方法・手法が選択されていること
- 3) 先行研究が適切にレビューされていること
- 4) 研究内容に経営学の観点からの学術的意義、あるいは実務の観点からの社会的意義が認められること
- 5) 論文構成が適切で、論旨の展開が論理的かつ明確であること

経営学専攻（法学分野）

修士学位論文の審査にあたっては、以下の項目に対し評価を行う。

- 1) 研究対象領域における基本的知識が適切であること
- 2) 研究テーマの新規性ないしは独創性があること
- 3) 研究内容の学術的・社会的意義が認められること
- 4) 論旨が論理的整合性を保持していること
- 5) 文献・資料の引用が妥当かつ適切であること

経営学専攻（観光・地域創造分野）

修士学位論文の審査にあたっては、以下の項目に対し評価を行う。

- 1) 学術的・社会的意義の認められるテーマが選択されていること
- 2) 先行研究や関連研究を的確に理解し、引用等も適切に行っていること
- 3) 論文のテーマにふさわしい分析方法が選択されていること
- 4) 分析結果の解釈や論証が正しくかつ明確であること